

# 藤川 幸之助 講演会

演題

「支える側が支えられるとき」

認知症の母が教えてくれたこと



藤川幸之助（詩人・児童文学作家）

1962年生。長崎大学教育学部大学院修士課程修了。  
NBC長崎放送が制作したラジオ番組「マザー・  
詩人藤川幸之助が綴った母との瞬間」が平成16年  
民間放送連盟賞最優秀賞受賞、文化庁芸術祭参加  
作品となる。

京都新聞社提供

認知症の老人ホームに入れた  
老人ホームに入れた

扉

認知症の老人たちの中で  
静かに座つて私を見つめる母が  
涙の向こう側にぼんやり見えた。  
私が帰ろうとすると  
何も分かるはない母が  
私の手をぎゅっとつかんだ。  
そしてどこまでもどこまでも  
私の後をついてきた。

私がホームから帰ってしまうと  
私が出ていった重い扉の前に  
母はびつたりとくつづいて  
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。  
それでも  
母にとつては重い重い扉を  
私は老人ホームに入れたまま  
私は帰る。  
母を老人ホームに入れたまま  
私はひよいと開けて  
また今日も帰る。

「満月の夜 母を施設に置いて」（中央法規）

平成26年

12月11日木

長崎ブリックホール 国際会議場

開演19:00(開場18:00)

入場料無料

【主催・問い合わせ先】

長崎市認知症グループホーム連絡協議会

事務局 ☎ 095-845-7120